

南信州は自然がいっぱい！見どころ満載！



南信州地域は、長野県南部に位置し、飯田市と下伊那郡13町村で構成されています。東側を南アルプス、西側を中央アルプスに囲まれ、ほぼ中央部を天竜川が北から南へ流れています。豊かな大自然に恵まれ、四季折々に美しい景色を楽しむことができます。



JR飯田線は、愛知県豊橋駅から長野県上伊那郡辰野駅までの全長約195kmを結び、うち南信州地域の区間（中井侍駅～上片桐駅）は約60kmです。北部の沿線は、田園風景や特産である市田柿の柿の木が見られ、車窓からは雄大な南アルプスや中央アルプスを望むことができます。南部の沿線は、天竜川に沿って線路が続き、トンネルの多さが特徴。車窓からは、美しい天竜川の渓谷を望むことができ、秋には色鮮やかな紅葉を楽しむことができます。



**車窓から広がる
雄大な山並みと美しい天竜川の渓谷
飯田線は、毎日が観光列車です！**

このパンフレットができるまで

長野県南信州地域振興局では、県魅力発信ブログ南信州地域版「南信州お散歩日和」で、平成26年9月から約1年半に渡り、飯田線各駅の魅力を伝える「飯田線シリーズ」を掲載してきました。おかげさまで、飯田線を知らなかった県内外の閲覧者の皆様から、飯田線に乗ってみたいとなったとのお声をいただき、平成28年3月「飯田線シリーズ」を一冊のパンフレットにまとめ発行し平成29年8月20日をもって飯田線が全線開通80周年をむかえたことから沿革などを、また、平成30年7月には、愛知県・静岡県の主な駅の紹介を加え、さらに令和元年5月にクールジャパンアワード2019を受賞したことを記念し、再発行しました。そしてこのたび、令和2年に飯田線秘境駅号が10周年を迎えたことを記念し、改訂版を発行することとなりました。なお、南信州地域版ブログの紹介は最終ページにありますので、ご覧ください。